

西日本

第52回 全国設備管理強調月間

改善事例発表大会2024

2024年 6月 14日開催 北九州国際会議場
(福岡県北九州市)



大会の注目ポイント！

生産・保全現場の困りごと・課題に
挑んだ改善事例が集結！
あなたの現場をより良くする
改善ヒントが多数！！

現場主体のDXに挑戦した改善

故障・不良ゼロへの挑戦

考動できる人財育成エピソード

のほか、今、注目の発表テーマが多数！！

イベントの詳細・お申込みは、
改善事例発表大会公式サイト
<<https://info-jipm.jp/event/kaizen/>>



発表後の交流会で
さらに詳しい情報
交換ができます！
(苦労話や失敗談も)

発表企業

アイシン九州 ※ 50音順、法人格略
東ソー
トクヤマ
徳山積水
トヨタ自動車九州
日産自動車九州
日本ゼオン
マツダ
UBE
レゾナック

発表数：10社 10事例

参加料（税込み）

会員価格 ※ 18,150円 / 名
一般価格 23,650円 / 名

- 上記料金は、1会場あたり1名で参加する場合の料金です
- 参加料には、テキスト（資料）代が含まれています
- ※ 会員価格の適用には、公益社団法人日本プラントメンテナンス協会（正会員・事業所会員）、もしくは一般社団法人日本能率協会（法人会員）の会員であることが必要です
- ※ 会員ご入会の有無は、下記WEBサイトにてご確認ください
・公益社団法人 日本プラントメンテナンス協会
<https://www.iipm.or.jp/company/memberlist/>
・一般社団法人 日本能率協会 <https://list.jma-member.com/>
・会員以外の方は、この機会に是非当会会員へのご入会をご検討ください
- ※ 経営者懇話会は無料招待いたします



会場アクセス



〒802-0001
福岡県北九州市
小倉北区3丁目
9番30号
■ JR「小倉駅」
下車 徒歩8分

全国設備管理強調月間とは、

経営者層をはじめ全従業員の設備管理への意識を高め、設備管理の重要性を広く認識いただくことで、産業界の生産性向上のみならず環境保全や事故、災害防止に寄与することを目的としています

時 間		発 表 情 報		※ 敬称略
9:30▶		開場・受付開始		
10:00▶10:10		開会のあいさつ		
事例 1	10:10 ▼ 10:30	工務・保全 「定期清掃頻度削減」による稼働期間創出		<発表キーワード> ● コストダウン ● 環境・省エネルギー ● 品質安定化・向上
		UBE株式会社 宇部ケミカル工場 宇部医薬品工場医薬生産技術グループ医薬保全チーム	河本 紘昭	
事例 2	10:30 ▼ 10:50	工務・保全 デジタル技術採用によるpH電極の延命化		<発表キーワード> ● 設備の信頼性向上 ● コストダウン ● デジタル技術を利用した改善
		株式会社トクヤマ 徳山製造所 エンジニアリングセンター設備管理グループ	兼重 秀明	
事例 3	10:50 ▼ 11:10	工務・保全 遊休機を活用した若手保全マンの育成		<発表キーワード> ● 人財育成 ● 設備の管理方法・基準の見直し
		アイシン九州株式会社 生産管理部保全G 係長	勝木 健一	
11:10▶11:20		休憩		
事例 4	11:20 ▼ 11:40	運転・製造 重合仕込み用水熱交換器解体掃除作業の撲滅		<発表キーワード> ● 作業の効率化・容易化 ● 設備の管理方法・基準の見直し ● 安全
		徳山積水工業株式会社 本社 ポリマー製造課	寺尾 悠	
事例 5	11:40 ▼ 12:00	工務・保全 カーボン製多管式熱交換器の管板構造による損傷		<発表キーワード> ● 設備の信頼性向上
		東ソー株式会社 南陽事業所 設備管理部工務第二課	宮崎 智大	
事例 6	12:00 ▼ 12:20	工務・保全 大分コンビナート 車両規制信号灯の不具合改善		<発表キーワード> ● 設備の信頼性向上 ● 安全 ● 環境・省エネルギー
		株式会社レゾナック 大分コンビナート 工務部計装グループ	長田 優二	
12:20▶13:05		昼休憩（お弁当をご用意しております）		
事例 7	13:05 ▼ 13:25	工務・保全 マイクロディスペンサー故障撲滅 ～兆候監視で点検ゼロにチャレンジ～		<発表キーワード> ● 予防保全・予知保全 ● 設備の信頼性向上 ● 人財育成
		トヨタ自動車九州株式会社 小倉工場 ハイブリッド製造部第1ハイブリッド製造課 班長	林田 慎五	
事例 8	13:25 ▼ 13:45	工務・保全 予備品管理の最適化による 部品の安定確保と棚卸負荷の低減		<発表キーワード> ● デジタル技術を利用した改善 ● 作業の効率化・容易化 ● コストダウン
		日本ゼオン株式会社 徳山工場 設備管理課	川口 敦司	
13:45▶13:55		休憩		
事例 9	13:55 ▼ 14:15	工務・保全 ロボットビジョンシステムの異常対策による設備信頼性向上		<発表キーワード> ● 設備の信頼性向上 ● 人財育成
		日産自動車九州株式会社 九州工場 工務部工務課	松本 和哉	
事例 10	14:15 ▼ 14:35	工務・保全 摩耗を止めろ！ サーボプレス ブレーキ補修ゼロ！		<発表キーワード> ● 設備の信頼性向上 ● 改善活動の水平展開 ● 人財育成
		マツダ株式会社 防府工場中関地区 パワートレイン工務技術グループ 工務係 班長	西 雄介	
14:35▶14:45		休憩		
14:45▶15:30		発表者との交流会		
15:30▶15:40		休憩		
15:40▶15:55		全国設備管理強調月間 応募作品のご紹介		
15:55▶16:10		表彰式		

事例1

「定期清掃頻度削減」による稼働期間創出

UBE株式会社
宇部ケミカル工場
宇部医薬品工場医薬生産
技術グループ医薬保全チーム

河本 紘昭

当工場の冷却水系は、鉄錆・スライムの発生により冷凍機やフィルターの定期清掃を余儀なくされ、生産性にまで影響を与える課題を抱えていた。今回、原因究明から水質を改善し、課題を解決したプロセスを発表する。

<発表キーワード>

- コストダウン
- 環境・省エネルギー
- 品質安定化・向上

事例4

重合仕込み用水熱交換器解体掃除作業の撲滅

徳山積水工業株式会社
本社 ポリマー製造課

寺尾 悠

抽出した高負荷作業の中から、過去に先輩方が成し得なかった本テーマにチャレンジ。5ゲン主義に則った現状把握を重ね、他部署を巻き込んで活動。問題に幾度もぶつかりながらもグループで意見を出し合い、目標達成へと繋げた事例を発表する。

<発表キーワード>

- 作業の効率化・容易化
- 設備の管理方法・基準の見直し
- 安全

事例2

デジタル技術採用によるpH電極の延命化

株式会社トクヤマ
徳山製造所
エンジニアリングセンター
設備管理グループ

兼重 秀明

42日周期で電極を交換していたpH電極の、安定運転と修繕費削減を図るため、電極の変更、サンプルラインの変更を行った。pH計の自己診断機能を活用して検証を実施し、84日での運用が可能となった事例を発表する。

<発表キーワード>

- 設備の信頼性向上
- コストダウン
- デジタル技術を利用した改善

事例5

カーボン製多管式熱交換器の管板構造による損傷

東ソー株式会社
南陽事業所
設備管理部工務第二課

宮崎 智大

定修で上部カーボン製管板の角部に損傷を確認したため、機器を更新した。原因調査の結果、角部に素材引張強度を超える応力が集中することが分かった。応力集中を解消するため管板のフラット加工を実施した事例を発表する。

<発表キーワード>

- 設備の信頼性向上

事例3

遊休機を活用した若手保全マンの育成

アイシン九州株式会社
生産管理部保全G 係長

勝木 健一

現在の保全メンバーは、19歳～50歳の幅広い年齢層で構成されている。チーム全体で遊休機を分解・清掃・復元することで若手保全マンのスキル向上を図った活動を発表する。

<発表キーワード>

- 人財育成
- 設備の管理方法・基準の見直し

事例6

大分コンビナート 車両規制信号灯の不具合改善

株式会社レゾナック
大分コンビナート
工務部計装グループ

長田 優二

コンビナート構内でガス漏れや災害時のルールとして、道路に配備された信号灯を自動若しくは手動で点灯させ、車両交通規制を行っている。今回はその車両規制信号灯の不具合改善をテーマに取り上げ活動した事例を発表する。

<発表キーワード>

- 設備の信頼性向上
- 安全
- 環境・省エネルギー

事例 7	マイクロディスペンサー故障による 長時間停止撲滅へのチャレンジ トヨタ自動車九州株式会社 小倉工場 ハイブリッド製造部 第1ハイブリッド製造課 班長 林田 慎五 定期保全では再発させてしまうマイクロディスペンサーの故障に対し、関係部署一丸となって真因追及から対策へと繋げた。新たに兆候監視にもチャレンジし設備停止撲滅を目指す、人財育成及び職場力向上を視野に活動を進めた事例を発表する。 <発表キーワード> ● 予防保全・予知保全 ● 設備の信頼性向上 ● 人財育成	ロボットビジョンシステムの異常対策 による設備信頼性向上 日産自動車九州株式会社 九州工場 工務部工務課 松本 和哉 生産負荷が高い中で新設備導入後の早期安定稼働が課題である。慢性的に発生しているビジョンシステム異常について、若手保全マンが原理原則を学びながら解析や対策を実施し、個々の成長にもつながった事例を発表する。 <発表キーワード> ● 設備の信頼性向上 ● 人財育成
事例 8	予備品管理の最適化による 部品の安定確保と棚卸負荷の低減 日本ゼオン株式会社 徳山工場 設備管理課 川口 敦司 予備品管理をゼロベースで見直すことで、必要な時に確実に部品が確保されている環境を構築し、安定操業に繋げた。合わせて棚卸の時短を実現した取り組みの事例を発表する。 <発表キーワード> ● デジタル技術を利用した改善 ● 作業の効率化・容易化 ● コストダウン	摩耗を止めろ！ サーボプレス ブレーキ補修ゼロ！ マツダ株式会社 防府工場中関地区 パワートレイン工務技術 グループ 工務係 班長 西 雄介 新規導入設備の初期故障にて稼働を阻害していたため、製造部門、生産技術部門、設備メーカー様と協力して原因を追究して対策を行った。自分達も学びながら水平展開と歯止めも行うことで故障をゼロ化した事例を発表する。 <発表キーワード> ● 設備の信頼性向上 ● 改善活動の水平展開 ● 人財育成

